

『創造的復興』の原点は神戸にあった

— ショック・ドクトリンで収奪される被災地



2015
1.17 土
 16:30 ~ 18:30
 於・
 兵庫県保険医協会

私たちは巨大災害と、どう向きあえばよいのでしょうか。阪神淡路大震災から20年たっても生活再建できない人々が立ちすくみ、福島原発は今も収束できず、避難者は故郷にもどれません。私たちの運動によって、個人補償はしないと言いつけてきた政府の壁を打ち壊し、公的保障の範囲を拡大してきました。しかし政府や兵庫県、神戸市などは、原発再稼働や埋立地への病院移転などを推し進めています。古川さんはジャーナリストとして、阪神淡路大震災と東日本の両方取材し、「震災に乗じた中央や外からの資本に食い物にされる被災地」を現地目線で取材され、東北メディカルメガバンク構想についても取材されています。私たちが進むべき道をあらためて考えてみましょう。



元町駅から南へ徒歩7分、兵庫県農業会館向かい。

Panelist (パネリスト)



ライター

古川 美穂氏 (ふるかわ みほ)

【プロフィール】

1965年神奈川県生まれ。週刊誌記者を経て94年よりフリーライター。著書「ギャンブル大国ニッポン」(岩波ブックレット)。現在、岩波書店の月刊誌『世界』で「東北ショック・ドクトリン」を連載中。

全国保険医団体連合会会長

住江 憲勇氏「全国災害対策連絡会16年の成果」

兵庫県保険医協会副理事長

武村 義人氏「震災20年、開業医はいかに闘ったか」

ひょうご福祉ネットワーク・ケースワーカー

正津 房子氏「20年間の生活相談から」

定員 100人 **参加費** 無料

申込 団体名(または住所)、氏名を記入のうえ、ファックスでお申し込みください

会場・連絡先 兵庫県保険医協会 神戸市中央区海岸通1-2-31神戸フコク生命海岸通ビル5階
 電話:078-393-1801 / FAX:078-393-1802

参加申込用紙

お申し込みは下記にご記入の上、FAXにて
 お願いいたします。

FAX 078-393-1802

団体名 (個人の方は住所)	
フリガナ	
氏名	